



## 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年2月10日

上場会社名 ビーピー・カストロール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5015 URL <http://www.bpcastrol.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小石孝之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 渡辺克己 (TEL) 03-5719-7875  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月24日 配当支払開始予定日 2022年3月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期の業績 (2021年1月1日～2021年12月31日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	11,091	2.4	2,231	△6.9	2,274	△7.1	1,547	△0.7
2020年12月期	10,829	△13.6	2,398	△4.6	2,448	△4.1	1,558	△8.2

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	67.42	—	14.1	16.6	20.1
2020年12月期	67.86	—	14.2	17.7	22.1

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 ー百万円 2020年12月期 ー百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	13,569	10,932	80.6	476.21
2020年12月期	13,857	10,969	79.2	477.82

(参考) 自己資本 2021年12月期 10,932百万円 2020年12月期 10,969百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	1,202	△114	△1,581	1,010
2020年12月期	1,825	△111	△1,605	1,504

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	30.00	—	39.00	69.00	1,584	101.7	14.4
2021年12月期	—	30.00	—	39.00	69.00	1,584	102.3	14.5
2022年12月期(予想)	—	27.00	—	30.00	57.00		102.3	

## 3. 2022年12月期の業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,216	0.4	697	△42.4	716	△41.5	487	△41.4	21.21
通期	11,266	1.6	1,855	△16.9	1,893	△16.8	1,279	△17.4	55.71

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期	22,975,189 株	2020年12月期	22,975,189 株
② 期末自己株式数	2021年12月期	17,474 株	2020年12月期	17,450 株
③ 期中平均株式数	2021年12月期	22,957,732 株	2020年12月期	22,957,739 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信【添付資料】4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 貸借対照表	P. 5
(2) 損益計算書	P. 7
(3) 株主資本等変動計算書	P. 8
(4) キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(追加情報)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(持分法損益等)	P. 11
(1株当たり情報)	P. 11
(重要な後発事象)	P. 11
4. その他	P. 12
(役員の異動)	P. 12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、デルタ変異株等による新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、度重なる緊急事態宣言等の発出・延長もあり、企業や個人の活動に制約が生じました。ワクチン接種の進展等を背景に、秋口には経済活動は正常化に向かいましたが、足元では新種変異株の拡大等、依然として新型コロナウイルス感染症の収束までの見通しは立っておらず、先行きは不透明な状況が続いております。

海外経済につきましても、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、回復の状況は国や地域によって差が見られました。感染症による内外経済への影響や金融資本市場の動向を注視する必要があり、予断を許さない状態が続いております。

原材料価格に大きな影響を与える原油価格の動向については、新型コロナウイルスの感染拡大による経済停滞への警戒感の一方、エネルギー需要には底堅さが示され、さらにOPECプラスの協調減産が続いたことで需給タイト感が強く意識され、前年平均と比べ7割上昇となるなど厳しい経営環境は続いております。

自動車業界におきましては、小型・ハイブリッドの低燃費車並びに軽自動車を引き続き消費者からの根強い支持を集めております。新車販売台数に関しましては、世界的な半導体不足の影響により10月の国内新車販売台数は前年同月比で3割の減少となり、1968年の統計開始以来過去最低となりました。通年でも対前年比1割の減少となった2020年度からさらに3%の減少となっています。

このような市場環境の下、自動車潤滑油ビジネスにおいては、主力ブランドをさらに強化するため、最新の省燃費車に向けた超低粘度オイルの導入、需要期におけるプロモーションの実施やeコマースの拡販に加え、bpグループが提唱する2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする“カーボンニュートラル”のコンセプトを訴求し環境問題にも取り組んでまいりました。

また、潤滑油以外でも、エンジン内部を手軽に洗浄できる「エンジンシャンプー」や、カーケア製品「カストロールプロシリーズ」へ年間を通して積極的な投資を行い、購入者の拡大を促進いたしました。

一方、ニューノーマルを踏まえた対応として、中長期的に持続可能かつ競争力ある事業を行うための組織改革後の、デジタルトランスフォーメーションを含む業務効率化をさらに推進いたしました。

成熟した市場環境にありながらも、高付加価値ブランドの拡大と新しい需要の創出を促進することで、市場の再活性化及び当社ビジネスの継続的な成長を目指してまいります。

これらの結果、当事業年度における当社の売上高は11,091百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は2,231百万円（前年同期比6.9%減）、経常利益は2,274百万円（前年同期比7.1%減）、当期純利益は1,547百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、12,530百万円（前事業年度末は12,854百万円）となり、324百万円減少いたしました。これは、主に売掛金（258百万円の増加）、及び短期貸付金（572百万円の減少）によるものです。（なお、貸付金の内容は、BPグループのインハウス・バンクを運営しているビーピー・インターナショナル・リミテッドに対するものであります。）

#### (固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、1,039百万円（前事業年度末は1,002百万円）となり、36百万円増加いたしました。これは、主に前払年金費用（124百万円の増加）、繰延税金資産（59百万円の減少）及びその他（19百万円の減少）によるものです。

#### (流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、2,586百万円（前事業年度末は2,859百万円）となり、272百万円減少いたしました。これは、主に未払金（197百万円の減少）、未払法人税等（121百万円の減少）及び賞与引当金（67百万円の増加）によるものです。

#### (固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、50百万円（前事業年度末は28百万円）となり、22百万円増加いたしました。これは、主に繰延税金負債（35百万円の増加）及びその他（13百万円の減少）によるものです。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、10,932百万円（前事業年度末は10,969百万円）となり、36百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が当期純利益により1,547百万円増加し、剰余金の配当により1,584百万円減少したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,010百万円となり前事業年度末より493百万円減少いたしました。当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度末において営業活動の結果得られた資金は、1,202百万円（前年同期比623百万円の減少）となりました。これは、主に税引前当期純利益が2,274百万円及び減価償却費の計上109百万円により資金が増加した一方、売上債権の増加240百万円、特別退職金の支払額150百万円及び法人税等の支払額749百万円により資金が減少したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、114百万円（前年同期比2百万円の増加）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出110百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,581百万円（前年同期比23百万円の減少）となりました。これは、主に配当金の支払い1,581百万円によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
自己資本比率 (%)	79.6	78.6	79.5	79.2	80.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	328.4	198.4	250.8	203.9	230.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

※自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも個別ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）より算出しております。
3. 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
4. 当社は、2009年12月期より連結子会社であったビーピー・ルブリカンツ株式会社及びカストロール株式会社について重要性の判断基準から重要性が乏しくなったと判断し、非連結会社といたしましたので、連結財務諸表は作成しておりません。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化や金融資本市場の動向等、世界経済及び日本経済を下振れさせるリスクが引き続き懸念されています。そして、原油をはじめとするエネルギー・資源価格の上昇と高止まりが、わが国経済の回復基調や企業収益に悪影響を及ぼす可能性も指摘されています。

このような経済環境の下、自動車用潤滑油市場全体としては新たな需要の押し上げ要因は見当たらず、引き続き売上数量・売上高は減少傾向が継続すると予測しております。

当社といたしましては、原油価格、為替の変動要因、新型コロナウイルス感染症の影響などの要素を勘案しつつ、次年度へ向けてサステナビリティへの対応を進め、環境配慮型の低粘度・省燃費商品の拡販、マーケットニーズに合致した新商品の導入、プレミアム商品の消費者への更なる訴求、カーケア商品をはじめとする近隣カテゴリー商品を通じた消費者との接点構築、新規取扱店の拡大に加え、引き続き原価低減・コスト削減に注力することにより、売上高は11,266百万円、経常利益は1,893百万円、当期純利益は1,279百万円を計画しております。

(注) 上記の業績予想は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の配当方針は、株主の皆様への利益還元を積極的に行うこととしており、当面の間フリー・キャッシュ・フローを基本に税引後利益を目安に配当として還元することとしております。

上記の方針に基づき今期の期末配当につきましては、1株当たり期末配当金を従来予想の37円より2円増額の39円に修正いたします。

これにより、既に実施済みの中間配当金30円と合わせた年間配当金は、1株当たり69円となる予定です。

なお、次期の配当につきましては、2022年12月期の業績予想の当期純利益をベースに、普通配当1株当たり57円(中間27円、期末30円)とさせていただきます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当事業年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	171,283	250,226
電子記録債権	19,642	1,500
売掛金	2,257,498	2,516,390
商品及び製品	608,220	536,992
原材料及び貯蔵品	44,051	43,619
前払費用	16,595	24,087
短期貸付金	9,347,185	8,774,549
未収入金	388,148	375,637
その他	2,350	7,813
流動資産合計	12,854,975	12,530,818
固定資産		
有形固定資産		
建物	186,623	186,800
減価償却累計額	△169,138	△171,317
建物(純額)	17,485	15,482
工具、器具及び備品	606,917	667,081
減価償却累計額	△404,416	△472,319
工具、器具及び備品(純額)	202,501	194,762
有形固定資産合計	219,986	210,245
無形固定資産		
ソフトウェア	1,888	1,731
その他	2,414	2,414
無形固定資産合計	4,303	4,145
投資その他の資産		
投資有価証券	51,505	53,545
関係会社株式	5,200	5,200
破産更生債権等	12,117	10,845
長期前払費用	464	136
前払年金費用	576,660	701,600
繰延税金資産	59,862	—
その他	84,281	64,302
貸倒引当金	△12,117	△10,845
投資その他の資産合計	777,974	824,784
固定資産合計	1,002,264	1,039,175
資産合計	13,857,239	13,569,994

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当事業年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	681,862	728,719
未払金	1,044,649	846,992
未払費用	576,379	539,014
未払法人税等	414,098	292,586
預り金	11,380	10,800
賞与引当金	88,012	155,951
その他	42,721	12,288
流動負債合計	2,859,105	2,586,353
固定負債		
繰延税金負債	—	35,968
その他	28,396	14,892
固定負債合計	28,396	50,860
負債合計	2,887,502	2,637,213
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,350	1,491,350
資本剰余金		
資本準備金	1,749,600	1,749,600
資本剰余金合計	1,749,600	1,749,600
利益剰余金		
利益準備金	189,785	189,785
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	7,541,611	7,505,385
利益剰余金合計	7,731,397	7,695,170
自己株式	△6,973	△7,005
株主資本合計	10,965,374	10,929,114
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,362	3,666
評価・換算差額等合計	4,362	3,666
純資産合計	10,969,737	10,932,780
負債純資産合計	13,857,239	13,569,994

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	10,829,191	11,091,255
売上原価		
商品期首たな卸高	687,367	608,220
当期商品仕入高	4,768,899	5,224,707
合計	5,456,266	5,832,928
商品期末たな卸高	608,220	536,992
売上原価	4,848,045	5,295,935
売上総利益	5,981,145	5,795,319
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費	3,582,744	3,563,583
営業利益	2,398,401	2,231,736
営業外収益		
受取利息	11,961	12,378
受取手数料	11,214	11,323
受取補償金	3,226	1,595
雑収入	22,938	17,438
その他	2,081	2,207
営業外収益合計	51,422	44,943
営業外費用		
為替差損	1,437	2,638
営業外費用合計	1,437	2,638
経常利益	2,448,386	2,274,040
特別損失		
固定資産除却損	474	—
特別退職金	172,977	—
特別損失合計	173,452	—
税引前当期純利益	2,274,934	2,274,040
法人税、住民税及び事業税	724,059	630,045
法人税等調整額	△7,215	96,137
法人税等合計	716,843	726,183
当期純利益	1,558,090	1,547,857

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,491,350	1,749,600	1,749,600	189,785	7,590,562	7,780,348
当期変動額						
剰余金の配当					△1,607,041	△1,607,041
当期純利益					1,558,090	1,558,090
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	△48,951	△48,951
当期末残高	1,491,350	1,749,600	1,749,600	189,785	7,541,611	7,731,397

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△6,973	11,014,325	11,192	11,192	11,025,517
当期変動額					
剰余金の配当		△1,607,041			△1,607,041
当期純利益		1,558,090			1,558,090
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△6,829	△6,829	△6,829
当期変動額合計	—	△48,951	△6,829	△6,829	△55,780
当期末残高	△6,973	10,965,374	4,362	4,362	10,969,737

当事業年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計		繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,491,350	1,749,600	1,749,600	189,785	7,541,611	7,731,397
当期変動額						
剰余金の配当					△1,584,083	△1,584,083
当期純利益					1,547,857	1,547,857
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	△36,226	△36,226
当期末残高	1,491,350	1,749,600	1,749,600	189,785	7,505,385	7,695,170

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△6,973	10,965,374	4,362	4,362	10,969,737
当期変動額					
剰余金の配当		△1,584,083			△1,584,083
当期純利益		1,547,857			1,547,857
自己株式の取得	△32	△32			△32
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△696	△696	△696
当期変動額合計	△32	△36,259	△696	△696	△36,956
当期末残高	△7,005	10,929,114	3,666	3,666	10,932,780

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	2,274,934	2,274,040
減価償却費	110,996	109,036
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12,117	△1,272
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45,375	67,939
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△100,962	△124,939
受取利息及び受取配当金	△14,043	△14,585
固定資産除却損	474	—
売上債権の増減額 (△は増加)	160,311	△240,749
たな卸資産の増減額 (△は増加)	60,808	71,660
その他の資産の増減額 (△は増加)	△6,941	20,767
仕入債務の増減額 (△は減少)	△221,944	46,856
未払金の増減額 (△は減少)	96,127	△37,578
その他の負債の増減額 (△は減少)	185,943	△84,405
小計	2,512,446	2,086,769
利息及び配当金の受取額	13,614	14,941
特別退職金の支払額	—	△150,596
法人税等の支払額	△700,133	△749,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,825,926	1,202,078
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,280	—
定期預金の払戻による収入	3,382	—
有形固定資産の取得による支出	△109,337	△110,690
無形固定資産の取得による支出	△1,570	△647
投資有価証券の取得による支出	△2,941	△3,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,746	△114,382
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△1,605,047	△1,581,366
自己株式の取得による支出	—	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,605,047	△1,581,399
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	109,132	△493,702
現金及び現金同等物の期首残高	1,395,464	1,504,597
現金及び現金同等物の期末残高	1,504,597	1,010,894

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、社会経済活動への影響は翌事業年度末へ向けて緩やかに持ち直していくと仮定しており、現時点において会計上の見積り及び見積りを伴う判断に与える重要な影響はありませんでした。

なお、この仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や経済環境への影響が変化した場合には、将来の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

前事業年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)及び当事業年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

当社の事業は、潤滑油の販売並びにこれらに付帯する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	477円82銭	476円21銭
1株当たり当期純利益金額	67円86銭	67円42銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	1,558,090	1,547,857
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,558,090	1,547,857
普通株式の期中平均株式数(株)	22,957,739	22,957,732

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### (役員の変動)

##### (1) 役員の変動

###### ①代表取締役の変動

該当事項はありません。

###### ②その他役員の変動 (2022年3月24日付)

###### 1. 新任取締役 (監査等委員) 候補

取締役 (監査等委員) 栗井 佐知子

(注) 栗井 佐知子は、社外取締役 (監査等委員) 候補であります。

###### 2. 退任予定取締役 (監査等委員である取締役を除く。)

取締役 チャールズ・ポッスルズ

###### 3. 退任予定取締役 (監査等委員)

取締役 (監査等委員) 東松 国明

##### (2) その他

該当事項はありません。